

# あむーる

島根県立松江北高等学校  
第3学年 八幡英語通信  
2016年4月9日発行  
第1号

## No.1

## あむーる 復活!



▲松江南高時代の「あむーる」

私がまだ30代の頃、13年間松江南高校に勤めていました。そのうちの9年間を3年生・補習科の担任をしています。そして学級通信「あむーる」を毎週発行していました。今でもその時担任した生徒たちや、保護者のみなさんから、あれは楽しかった、今でも保管していますよ、という声を聞くと嬉しくなります。以来、大田高校、津和野高校、松江北高校と学校を変わっても、学級通信・進路指導部だより、学校通信と形を変えながら続けてきました。最近では担任を持つこともなく、休刊していましたが、今年は「英語通信」という形で復活させることにしました。もうこれで最後になりますので、伝えたいことはしっかりとみなさんに伝えて、北高を去ろうと思っています。♡♡♡♡

## 散歩のついでに富士山に登った人はいない!!

「散歩のついでに富士山に登った人はいない」という言葉があります。富士山に登るためには、必要になる装備・衣類・食糧・薬品だけでなく、体力も鍛える必要があります。万全の準備をして初めて富士山に上られるのです。サンダル履きでは絶対に無理です。最近の北高生を見ていて「散歩のついでに富士山に上がろう」としている人が多いという感想を持っています。〇〇大学を明確に心に抱きながら、毎日精一杯勉強をしている生徒がいます。ただ何となく言われたままに勉強している人もたくさんいます。その違いは、富士山に登ろうとして、それに向かって歩いているのか、それとも、何の「目標」もなしに歩いているかの差です。目標を持って勉強する人と、そうでない人とは、同じように頑張ってみても大きな差がつくのです。高い目標を掲げた場合には、行動を起こす前に色々と考え、準備をしなければなりません。「登ろうとする人と、登ろうとしない人の心持ちと姿勢・態度には、ずいぶん大きな違いが来ている」のです。

「頑張ったかどうか」ではないのです。違うんですね。確かに、富士山に登る人も散歩する人も「歩いている」という点では同じ。ですから、頑張ったかどうかの違いではなく、「目標に向けて」頑張ったかどうかの違いが重要なんです。頑張ることは大前提として、せっかく頑張るなら、目標を立てる。明確な目標を立てようと思うとそれだけで時間がかかりかかるので、まずは、ぼんやりと、この辺りかなという目標を立ててみる。そして、行動してみる。近づけば、その分、目標の報酬ははっきりしてくるはず。そこを間違えないように、意識してこの一年間頑張ってみてください。

口で言うのは簡単です。大切なのは行動を起こすこと。そして継続すること。<sup>なかたにあきひろ</sup>中谷彰宏さんの言葉に、「したい人1000人、始める人100人、続ける人1人」とあります。いかに継続することが難しいかをこの言葉は物語っていますね。

## 先輩は語る



- ◆発音・アクセントは法則を覚える！ ○ルールの大切さ
  - 私はセンター直前まで、単語は授業で出てきたものや音単にあるものを自分で発音することで覚えました。しかしセンターでは知らない単語が出てくることがあるので、それだけでは十分補うことができませんでした。そんな時、センター直前の12月に発音・アクセントの法則を知り、覚えるようになりました。法則を覚えれば、見慣れない単語が出てても対応できたし、ただもっと早くから覚えておけば良かったなと思います。【例えば下記参照】
  - ◆長文読解問題は本文の内容を把握する！ ○「読みながら、解きながら」の原則
  - よく設問を見てから本文で該当する箇所を探すという人を見かけますが、私はそれはできませんでした。最初に本文の第一パラグラフを読んで、何をについての英文か、これからどんな展開になりそうか...などを把握してから読み進めました。今のところ大抵は第二パラグラフからパラグラフごとに設問がついてるので、一つのパラグラフを読み終える度に設問に答えるようにしたら無駄がなく、スピードも速くなります。少なくとも私はそうでした。
  - ◆模試は絶対に見直す！ ○「やりっ放し」にしない!
  - 3年後半の模試ラッシュの時はさすがに間違えた問題だけを見直しましたが、比較的時間に余裕をのあった時期は正解した問題でも、他の選択肢について調べたり、長文で出てきた知らない単語をピックアップして覚えたりして、模試を有効的に活用しました。過去問についても同じです。模試や過去問は試験自体は慣れるのに必要ですが、実力を上げるのに一番必要なのは見直すことだと思います。
- (島根県立松江北高等学校卒業 東京大学 文科Ⅲ類 榎瀬ゆりえ)

●2年生の『音読英単語』の演習で次のような単語を学習しています。

artificial, biological, commercial, controversial, cultural, fundamental, historical, individual, industrial, informal, intellectual, internal, liberal, mammal, material, medical, mutual, parental, physical, potential, principal, rational, skeptical, substantial, technological, trivial, typical, universal, unusual

※全部口に出して発音して意味を言ってみましょう。

★全てが-alで終わっていますね。これらの語のアクセントは??確認せよ!!

【4 alの法則】 -alを含む「語尾4文字」の前にアクセント!

1 2 3 4

-al ⇒ 母音 □□ al

ここにアクセントがくる!

重要